

日本の歴史のできごとを調べる

参考図書 (reference book) とは

特定の知識や情報について調べることができるものを参考図書とよんでいます。小説などとは違い、必要なところだけ読めば用が足りる、たとえば、事典・辞典・図鑑・年鑑・便覧・白書などです。



『国史大辞典』

国史大辞典編集委員会編 吉川弘文館 1979-1997年 全15巻

古代から現代までの日本の歴史の全領域をおさめ、考古学・民俗学・宗教・美術・国語学・国文学・地理など、隣接する分野も含めた歴史百科の決定版です。

索引は、地名索引・人名索引・事項索引に分けられています。また、本文理解を助けるために写真や図版・図表・系図などが挿入され、参考文献も豊富に紹介されています。歴史的なことから調べるための、最も基本的な辞典といえるでしょう。

項目総数は約5万で、1-14巻が本文、15巻は上中下にわかれており、補遺と史料・索引にあてられています。

『岩波日本史辞典』

岩波書店 1999年

学生・研究者・一般読者の必要とする基本用語と最新の研究成果を収録しています。

項目として採用しなかった人名や事項を準項目索引として付け加え、合わせて約3万項目の辞典となっています。戦後史・女性史・教育史など現代的課題にも対応しています。

『明治時代史大辞典』

吉川弘文館 2011年 全4巻

大政奉還から明治の終わりまでを中心にあらゆる分野の事項・人物を詳細に解説しています。1-3巻が本文、4巻が補遺・付録・索引となっています。



わからないことがあれば、何でもお気軽に図書館員におたずねください。

『国史大辞典』で調べてみました！

問① 神戸の三宮神社に「神戸事件発生地」の石碑があった。神戸事件って何？

答 「明治元年(1868)正月11日、新政府によって西宮の守護を命ぜられた岡山藩家老日置帯刀の部隊が神戸を行進していたとき、外国人が部隊の前方を横断したのがきっかけで、武士の間に潜む攘夷感情が爆発した。藩兵の部隊は外国人に対して発砲(中略)外国側は岡山藩兵の行動に対する報復として、港内にある諸藩の艦船をすべて抑留し、また神戸居留地を軍事的に占領した。(中略)神戸の永福寺で責任者滝善三郎の切腹が各国見証のもとでおこなわれた。ハラキリが外国人の前に公開されたのは、これが最初である(後略)」との説明があります。 (第5巻【神戸事件】の項)

問② 「天空の城」として有名になった竹田城(兵庫県朝来市和田山町)の城主は誰だったの？

答 「(前略)築城のはじめは室町時代永享・嘉吉年間(1429-44)のころと伝えられ、但馬守護山名氏麾下の有力な国衆で守護代の任にもあった太田垣氏の本拠の城塞であった。その後、戦国時代にも引きつづき太田垣氏の居城であったが(中略)天正8年(1580)太田垣氏は竹田城を去り、代わって秀吉の部将桑山重晴が一時入城し、ついで同13年には赤松広秀が播磨竜野城から移って竹田城主となった。しかし広秀は慶長5年(1600)関ヶ原の戦い、はじめ去就を鮮明にせず(中略)徳川家康からの不興を蒙り、同年10月鳥取の真教寺において自害し、城は廃された。」と記述されています。 (第9巻【竹田城】の項)

調べてみよう！

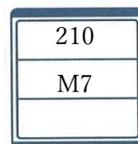
- * 伊藤博文が兵庫県知事だったのはいつ頃のことか？
- * 戦国の武将武田信玄が発行していたという「甲州金」とはどんなものか？
- * 陰陽師は宮中に仕えていたらしいが、いつ頃から存在したのだろうか？

まずは、紹介されている参考図書を調べてみましょう！

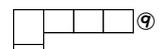
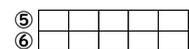
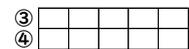
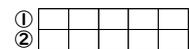
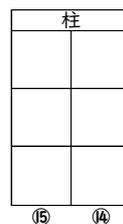
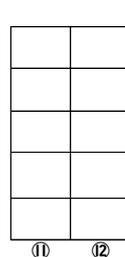
上記の参考図書はこちら→

図書館の本は、本の背に内容がわかるよう分類ラベルが貼ってあります。

日本の歴史は【210】～【219】を探してみてください。



中央図書館3階



カウンター